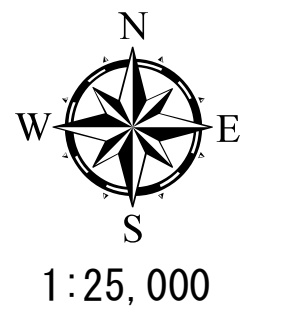
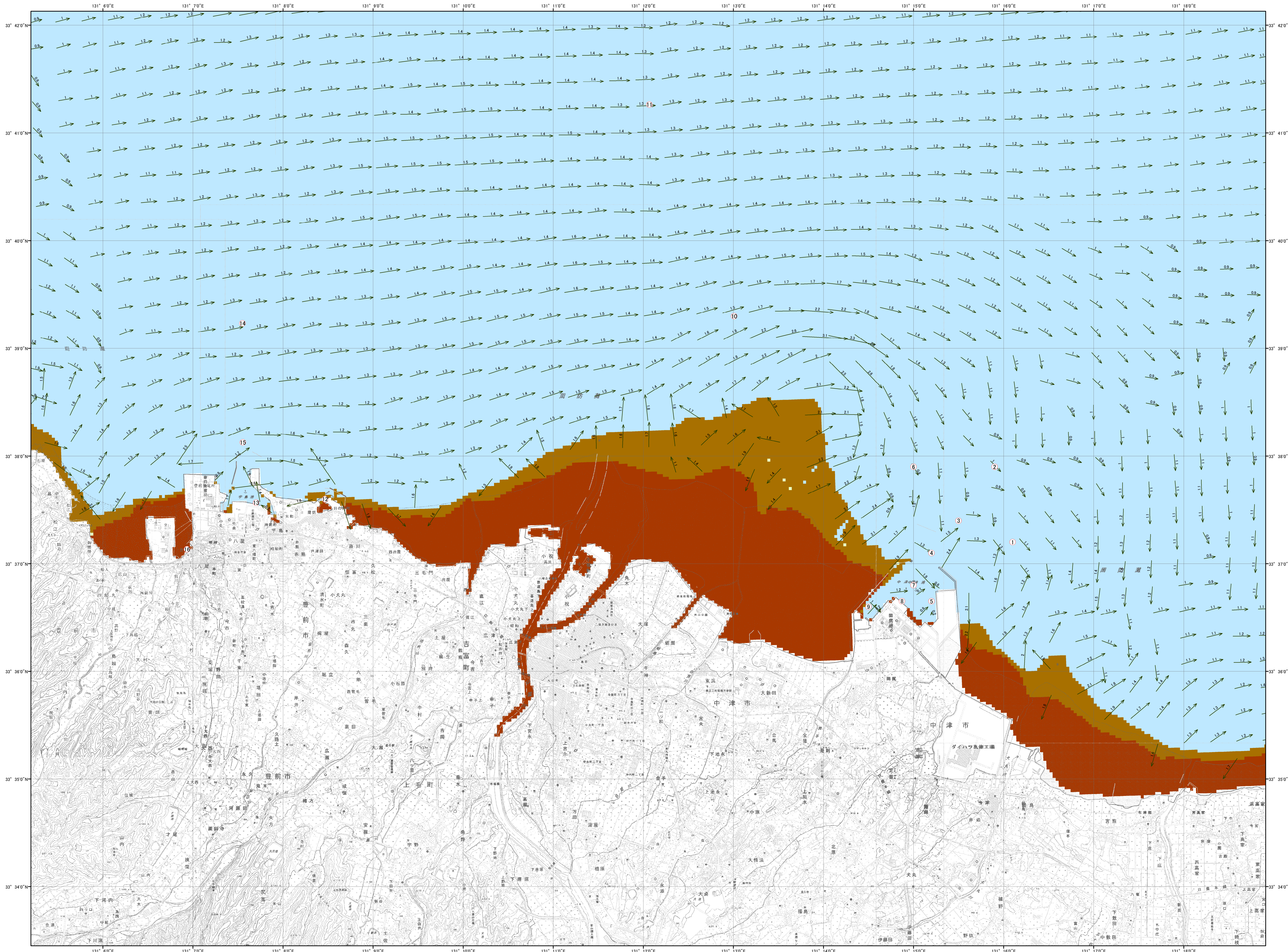


# 中津港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件：最低水面（零位）  
 隆起量：平均 -1cm (-3cm ~ 1cm)  
 Zo：2.00m ~ 2.10m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

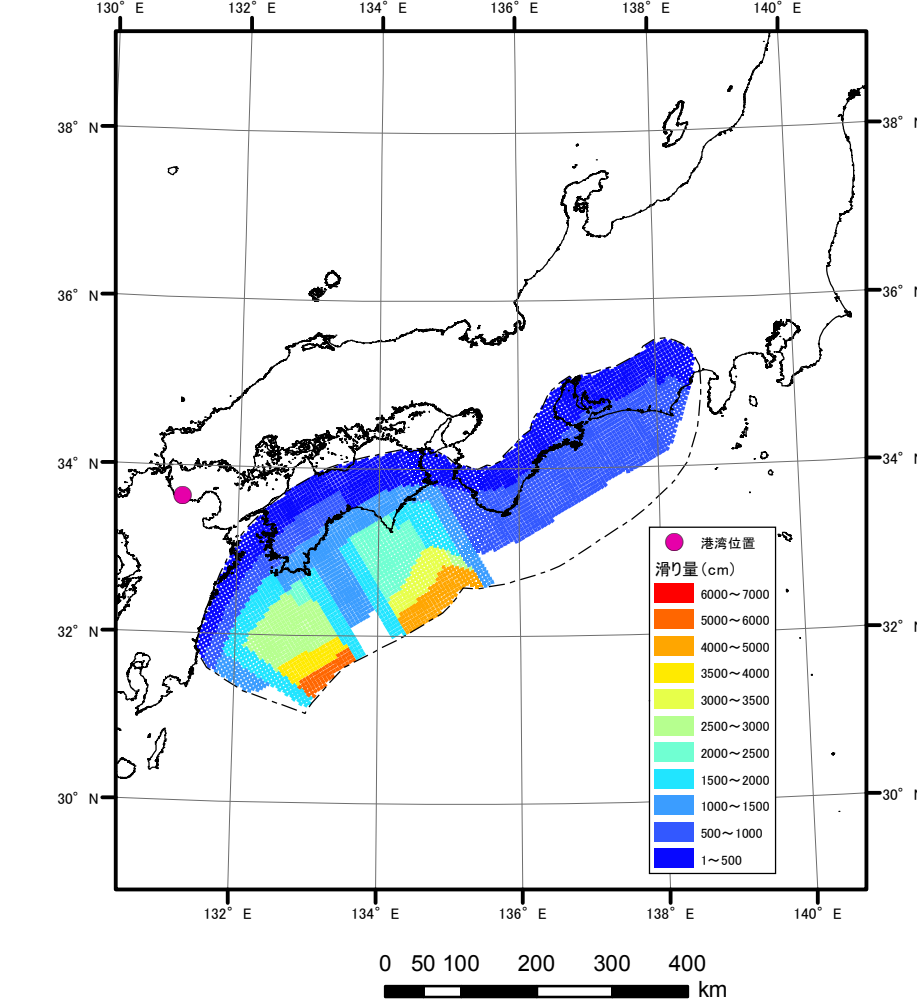


## 凡例

- 最大水位低下
  - 0.5~最大1.3m
  - 0.5未満
  - 干出域
  - 露出域
- 経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- 水位、流向・流速経時変化図  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
- 引潮時最大流 [knot]
  - 1.5 knot
  - 1 knot
  - 0.5 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

## 断面モデル



ケース①「室戸岬沖と日向灘に『大すべり域+超大すべり域』」

|                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 断層面積 S (km <sup>2</sup> ) | 140,000                |
| 地震モーメント Mo (N-m)          | 6.6 × 10 <sup>22</sup> |
| 平均すべり量 D (m)              | 11.2                   |
| モーメントマグニチュード Mw           | 9.1                    |

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基盤地図情報5mメッシュ (標高) ・10mメッシュ (標高) 及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

